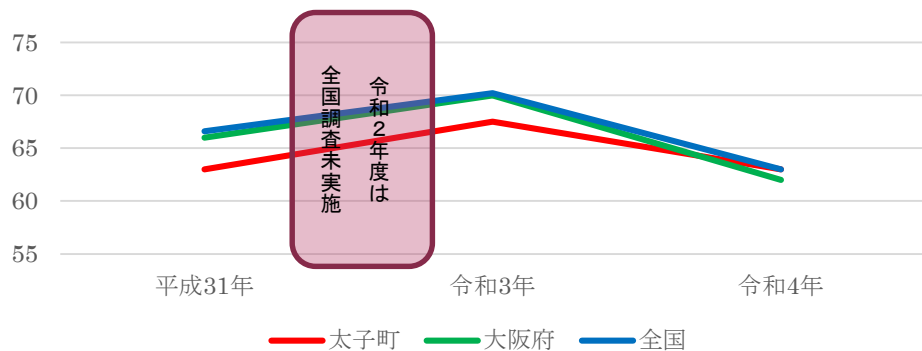


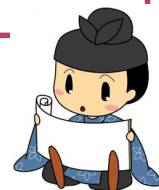
算数

正答率比較

平均正答率の推移

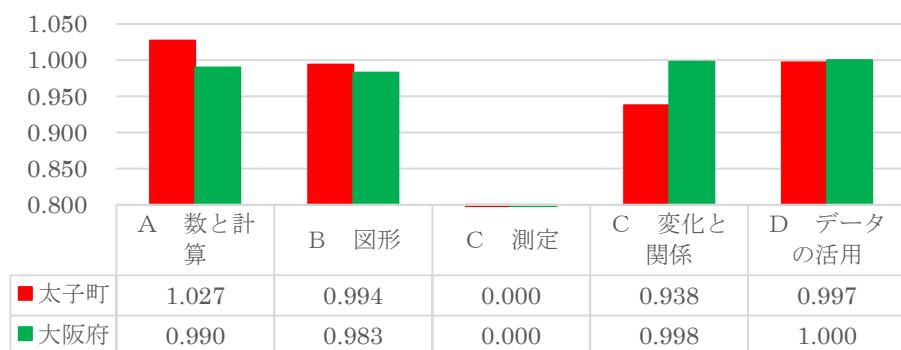


平均正答率は、63%で全国（63%）と同じとなり、大阪府（62%）を1ポイント上回った。



学習指導要領の内容別比較

全国平均正答率を「1」としたときの太子町の平均正答率との比較



全国平均と比べ、特に「変化と関係」に課題が見られる。「二つの数量の関係などに着目して捉え、根拠を基に筋道立てて考えたり、統合的・発展的に考えたりすることに苦手意識をもつことが分かった。

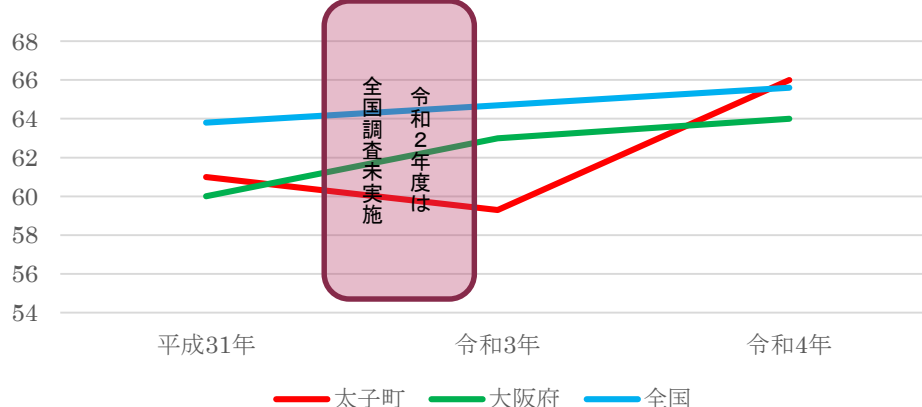
また、昨年度課題であった「データの活用」には改善されている。

データを分類整理したり、表やグラフからデータの特徴や傾向を読み取ったりすることができる児童が増加した。

国語

正答率比較

平均正答率の推移

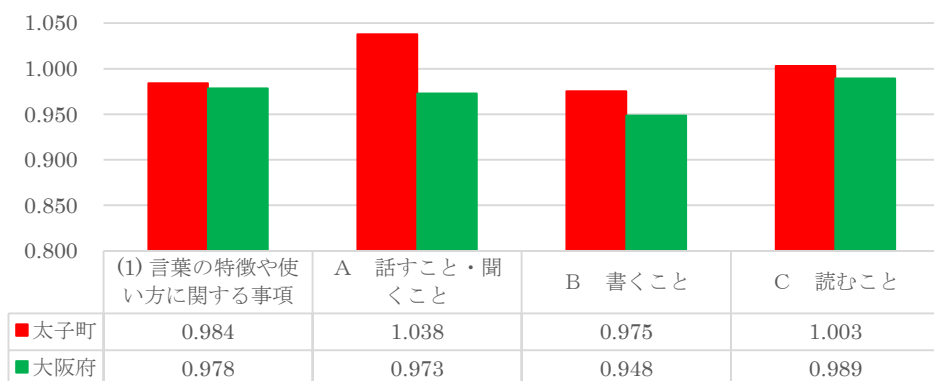


平均正答率は、66%で全国（66%）と同じとなり、大阪府（64%）を2ポイント上回った。



学習指導要領の内容別比較

全国平均正答率を「1」としたときの太子町の平均正答率との比較



全国平均と比べ、全体的に課題が見られるが、大阪府平均と比べるとすべての項目で上回る結果となった。

また、特に「話すこと・聞くこと」に関しては全国よりも高い値であった。目的を意識して中心となる語や文を見つけて要約する取り組みや、目的をもって、文章を書くことへの意識づけをおこなったことが実を結びつつある。

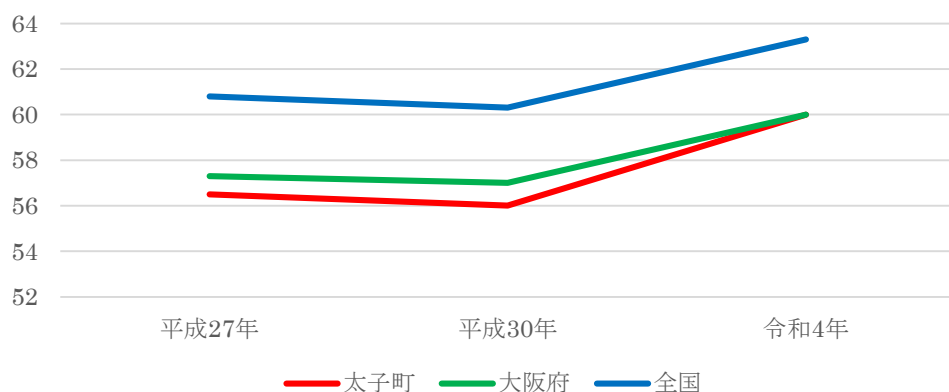
平均正答率は、59%で全国（63%）を4ポイント下回り、大阪府（60%）を1ポイント下回った。

エネルギー・粒子を柱とする領域に大きく課題が見られる。実体験と結びつけながらそれら領域の自然現象を理解することができない児童が多いことが課題となる。

理科

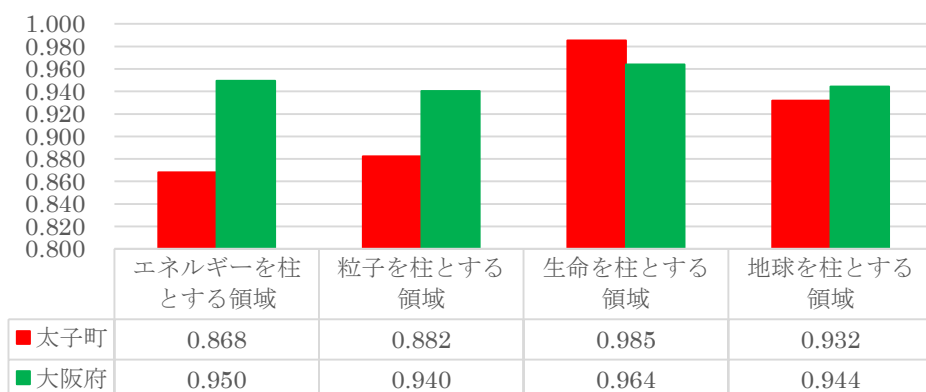
正答率比較

平均正答率の推移



学習指導要領の内容別比較

全国平均正答率を「1」としたときの太子町の平均正答率との比較



成果と課題

平均正答率は、少しずつではあるが、上がってきている。それは、日頃の教育活動の成果が現れているものである。

町全体の課題として、粘り強く、子どもが主体的に問題に取り組むための「しかけ」や大人の関わりが大切となる。

